

しかし、登録していない車がトラブルを起こすケースがあり、近隣住民から苦情が寄せられていた。そこで、学内にある駐車場を拡張し、昨年から千葉市若葉区に在住している学生の四輪車での通学を認めることにした。また、登録条件である安全運転講習会を年2回から年3回に増やし、未登録学生を減らすことを目標にした結果、近隣住民からの苦情を少なくすることができた。

また、大学祭のときの騒音や花火の打ち上げについても、以前は課題となっていたが、近隣の町内会との連絡・調整を密接に行うことにより、現在では、苦情等はほとんどなくなっている状況である。

点検・評価 **長所と問題点**

車両通学の制限を緩和したことは学生には好評だった。今後の課題は駐車場のスペースと、定期試験時の混雑具合をみながら、学生から要望のある制限の完全撤廃をするかどうかである。大学祭時の騒音問題についても、現状のように近隣町内会と連絡を密にすることで、大学周辺の「環境」に配慮することができると考えている。

将来の改善・改革に向けた方策

制限を緩和することで、住宅街などでの路上駐車をかなり減らすことができた。しかし、将来的には学生のさらなる利便性を考えて、駐車場の更なる充実を目指さなければならない。

3 利用上の配慮

(1) 施設・設備面における障害者への配慮の状況

現状の説明

平成14年の学生会館建設にあたっては、車椅子を使用している学生をバリアフリー・アドバイザーに指名し、建設設計の段階から意見を聞き、その要望を取り入れ、建設を行った。また、既存の施設についても、上述の学生の協力を得て、構内の全面的な見直しを行い、文部科学省の「平成15年度私立大学等バリアフリー推進事業」の補助金を受け、平成15年夏に改修工事を実施した。主たる改善内容は、以下のとおりである。

- ・学生駐車場から各建物につながる歩道の整備
- ・歩道から建物入口にかかる段差の解消
- ・各建物の自動ドア・入口前のスロープ改造（フラット部分で一時待機可能に）
- ・ドアストッパーの改修とレール部分の段差解消
- ・障害者専用の駐車スペースを設け、雨避けと照明を設置

点検・評価 **長所と問題点**

上記のような改修を行なうことで、障害をかかえる学生にとって、教室棟、事務局、食堂、書籍売店、体育館などへの出入りが、健常者の介助なしに可能となった。

これは車椅子を使っている学生の事例だが、ほかに耳の聞こえない学生もいるので、その学生がどのような不便を感じているか、意見を聞き改善を図る必要がある。

将来の改善・改革に向けた方策

今後は、障害をかかえたすべての学生が、できるだけ快適な学習・生活環境のなかで学べるよう、施設・設備の点検を適切に行わなければならない。

(2) 各施設の利用時間に対する配慮の状況

現状の説明

現在、各施設について学生が利用できる時間帯は、次のとおりとなっている。

・事務局窓口対応	9:00 ~ 18:30	
(就職資料室は、11:30~12:30の休憩時間中も利用可能)		
・医務室	9:00 ~ 18:00	
・学生会館	8:00 ~ 21:00	
・課外活動団体の部室	9:00 ~ 21:00	
・課外活動団体の教室(貸出)	16:30 ~ 19:00	(原則として平日のみ)
・課外活動団体の体育館(貸出)	9:00 ~ 20:00	
・証明書等自動発行機	9:00 ~ 18:30	(平日のみ)
・教育研究情報センター(図書館)	9:15 ~ 20:00	(平日のみ)
・コンピュータ実習室	9:00 ~ 21:00	(平日のみ)
・学生駐車場	8:00 ~ 21:00	
・食堂	9:00 ~ 19:00	(平日のみ)
・ブックセンター	10:30 ~ 17:00	(平日のみ)

点検・評価 長所と問題点

学生の要望にもとづいて事務局の窓口対応は、平成15年度から交替での時差勤務体制をとることによって、窓口対応を1時間延長して、18時30分までとすることができた。コンピュータ実習室についても、前年より2時間延長して21時までとした。

将来の改善・改革に向けた方策

学生の要望によって、対応時間、使用時間を延長したことは、学生にはおおむね好評であった。このように学生の要望に小まめに耳を傾けることで、さらに学生の利便性を高めていくことが肝要であると考えている。

4 組織・管理体制

(1) 施設・設備等を維持・管理するための責任体制の確立状況

現状の説明

施設・設備(電気設備、空調設備、給排水設備、消防用設備、昇降設備、ボイラー等)の維持・管理については、会計課を中心に業務を行っているが、ほとんどは、業者に委託又は保守契約をしている。構内に委託業者の施設(エネルギー棟)があり、電気関係等は、集中管理方式によって、監視している。